



日本美容皮膚科学会 総会・学術大会

LUNCHEON SMINNAR 4

日時：8月19日(土)11:40~12:40

会場：京王プラザホテル 第4会場 4階 錦
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

座長：CLINICA BellaForma
佐藤 英明 先生



高純化エクソソームがもたらす次世代スキンケアの可能性 高純化エクソソーム(Skin)を用いた臨床検討

今泉スキンクリニック
今泉 明子 先生



抄録 若々しく美しい顔を構成する要素の一つとして、シミやしわがなくキメが整った肌質が挙げられる。本邦では、20代から40代の女性約60%において肌質(スキンケア)治療に対する関心が高いというデータが得られている。一方で、スキンケアに対するレーザー治療は多岐に渡るが、注入剤を用いた肌質改善効果など臨床的有用性を検討した報告はほとんどされていない。最近、あらゆる細胞へシグナル伝達をする物質であり、生体内に存在するさまざまな細胞へのアバターと云われるエクソソームが注目されている。今回、特許技術により不純物を徹底的に除去し、国際細胞小胞体学会(ISEV)の基準に準拠した高純化エクソソームは1,008種類のタンパク質、598種類miRNA、373種の脂質を豊富に含有している活性物質であり、二重脂質膜で保護され壊れにくい構造から成る。この高純度なエクソソームだけを用いた製剤;ASCE+ SRLV(Skin)の肌(尋常性ざ瘡、ざ瘡瘢痕、赤ら顔、乾燥肌)への効果を検討した。ここでは本製剤;ASCE+ SRLV(Skin)の持つ再生能力及抗炎症効果を検討するとともに効果的な使用方法、また、患者満足度を上げるコツを紹介する。

新しい高純化エクソソーム製剤を使った HARG療法のアップデート

四谷ローズクリニック
吉澤 和彦 先生



抄録 【はじめに】毛髪再生治療であるHARG療法は脂肪幹細胞上清液AAPEを使用して行われるようになってから15年目を迎える。AAPEにはエクソソームが含まれるが、今回含有濃度を遙かに上回る「高純化エクソソーム製剤(ASCE+HRLV)」が開発され、それをHARG療法に使用したので臨床効果を報告する。【対象と方法】未治療の男性型脱毛症、びまん性脱毛症の患者男女計10名にASCE+ HRLVを月に1回計6回投与し経過観察した。本剤を5ccの生食に溶解し、1ccシリンジと34G鋭針を用い、1ショットあたり0.01ccを目安に真皮内に注入した。1例のみ、簡易型真皮注入器(Aquapen2)を使いその効果も検証した。【結果】男女共に全症例において初診時の状態と比較し薄毛部分の改善を示したので症例写真を供覧する。効果発現においてはAAPEよりも早期に認められた。また注入方法による差異は認められなかった。【考察】特許技術の濾過膜により不純物が取り除かれた本剤は高純化エクソソームと呼ばれ、毛髪再生に特化した成分も添加されている。臨床検討の結果、AAPEと比し男女を問わず効果発現が早いので、同じ治療期間における患者満足度はより高くなると考えられる。また特に有害事象は認められなかった。但し、HARG療法の効果を期待するには、適切な真皮内注入の技術を医師が持つ必要があることを注意されたい。